

ConMas i-Reporter

データ連携テーブル機能
操作説明書

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-01-31	V3.2	--	初版を発行しました。
2015-10-08	V5.1	P9	注意事項に計算式クラスターの説明を追記しました。
2019-08/26	V6.2	P9	注意事項に計算式クラスターの結果が時刻の場合にINTERVAL型になることを追記しました。
2020-04-30	V7.1.20050	P4,5	用途別目次を追加しました。
		P5	機能概要を修正しました。
		P6～8	連携テーブルの種類、単票形式、表形式を追加しました。
		P9	連携テーブルへの出力タイミングを追加しました。
		P8、9	連携テーブルの作成 全項目、対象項目を指定を追加しました。
		P18～P21	表形式 連携テーブル、連携ビューの名称についてを追加しました。
		P22	出力対象クラスター種別と出力値を追加しました。
		P23	シートコピーした場合の動作を追加しました。
		P25,26	注意事項を追加しました。
		P27～37	ConMasManagerからの連携ビュー参照機能 操作説明を追加しました。
2020-06-19	V7.2.20060	P25	ピン打ち定義では表形式連携テーブル機能の利用ができないことを追記しました。
2020-07-09	V7.2.20070	P17	数値型の位取りを14,5→19,10に変更したことを記載
2022-10-26	V8.0.22100	P34	プレビュー表示のSQL出力を追記しました。
2024-02-21	V8.1.24020	P15～22 P23～28	単票形式の連携テーブル分割に対応しました。 本対応に伴い、V8.0.22100より前の連携テーブル作成方式を、単票形式(テーブル分割しない)とし、記載を分けました。
		P37～39	表の列数、連携可能なクラスター数の最大値を1570→1572に変更しました。

目次（用途別）

- ・BI連携、連携ビュー直接参照
- ・ConMasManagerでのCSV出力、参照

BI

CSV

目次	ページ	用途
機能概要	5	BI CSV
連携テーブルの種類	6	BI CSV
単票形式	7	BI CSV
表形式	8	BI CSV
連携テーブルへの出力タイミング	9	BI CSV
連携テーブルの作成	10	BI CSV
連携テーブルの作成 - 全項目を出力	11	BI CSV
連携テーブルの作成- 対象項目を指定	12	BI CSV
連携テーブルの作成 - エラー説明	13	BI CSV
連携ビュー	14	BI CSV
単票形式の連携テーブル詳細説明	15～22	BI
単票形式（テーブル分割しない） ※V8.1.24020より前からi-Reporterをご利用のお客様	23～28	BI
表形式の連携テーブル詳細説明	29～33	BI
出力対象クラスター種別と出力値	34	BI CSV
シートコピーした場合の動作	35	BI
MotionBoardとの連携イメージ	36	BI
注意事項	37～39	BI CSV

目次（用途別）

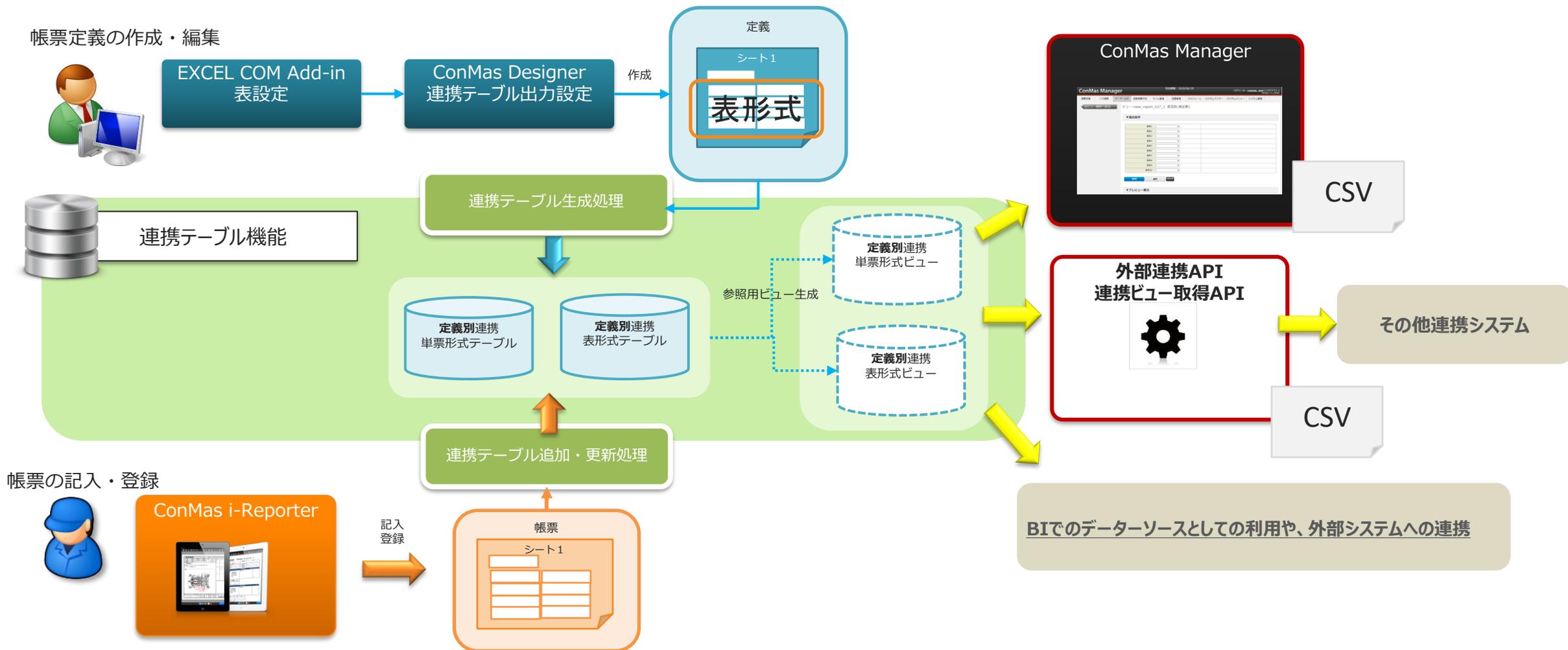
- ・BI連携、連携ビュー直接参照
- ・ConMasManagerでのCSV出力、参照

BI

CSV

目次	ページ	用途
ConMasManagerからの連携ビュー参照機能	40	CSV
ConMasManagerからの連携ビュー参照	41	CSV
出力定義の選択	42	CSV
連携ビューの選択	43	CSV
連携ビュー参照、CSV出力画面	44	CSV
抽出条件	45	CSV
出力項目設定	46	CSV
プレビュー表示のSQL出力	47	CSV
出力項目 単票形式	48	CSV
出力項目 表形式	49	CSV
列ヘッダー表示	50	CSV
補足事項	51	CSV

帳票データを専用のテーブルに自動出力します。
表形式の帳票は、表ごとにテーブルが作成され、BIツールのデータソースとしても視認性の高い情報の参照が可能となります。
出力されたテーブルはビューを介してConMasManager、外部連携APIで参照、CSV出力できます。



連携テーブルは以下の2つの種類があります。

- 単票形式
1 帳票1レコードで登録される形式です。
- 表形式
表設定に従って、表形式で登録される形式です。表ごとに複数のテーブルが生成されます。
※表形式を利用する場合は、予めEXCEL COM Add-inで表設定をしておく必要があります。

表設定については、
サポートWEB > 利用者向けマニュアル > ConMas EXCEL COM Add-in >
「ConMas EXCEL COM Add in Ver7.0 日本語 AI バージョン ご説明資料」をご参照ください。

点検報告書

日付: 2019/09/01
記入者: ユーザー1

表 1

〇〇点検

点検項目	可否	メモ	備考
AAAA	✓	よこれ	10110
BBBB		しみ	11000
CCCC	✓	よこれ	10110

□□点検

点検項目	確認	確認日
XXXX	×	2019/08/17
YYYY	○	2019/08/25
ZZZZ		

表 2

単票形式

帳票ID	...	日付	記入者	可否1	メモ1	...	可否2	メモ2	...
100	...	2019/09/01	ユーザー1	true	よこれ	...	false	しみ	...

表形式 表 1

帳票ID	...	行番号	行名称	日付	記入者	可否	メモ	備考
100	...	1	AAAA	2019/09/01	ユーザー1	true	よこれ	10110
100	...	2	BBBB	2019/09/01	ユーザー1	false	しみ	11000
100	...	3	CCCC	2019/09/01	ユーザー1	true	よこれ	10110

表形式 表 2

帳票ID	...	行番号	行名称	日付	記入者	確認	確認時刻
100	...	1	XXXX	2019/09/01	ユーザー1	0	2019/08/17
100	...	2	YYYY	2019/09/01	ユーザー1	1	2019/08/25
100	...	3	ZZZZ	2019/09/01	ユーザー1		

単票形式データ出力用の連携テーブルに、1帳票の連携対象クラスター値が1レコード上に出力されます。

• データ出力単位：帳票ID

単票形式の詳細説明は、「単票形式の連携テーブル詳細説明」以降を参照ください。

■ 1帳票の連携対象クラスターの値を、1レコードで登録

点検報告書

日付

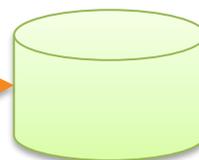
記入者

〇〇点検

点検項目	可否	メモ	備考
AAAA	✓	よごれ	10110
BBBB		しみ	11000
CCCC	✓	よごれ	10110

□□点検

点検項目	確認	確認日
XXXX	×	2019/08/17
YYYY	○	2019/08/25
ZZZZ		



連携テーブル（ビュー）

帳票ID	...	日付	記入者	可否1	メモ1	...	可否2	メモ2	...
100	...	2019/09/01	ユーザー1	true	よごれ	...	false	しみ	...

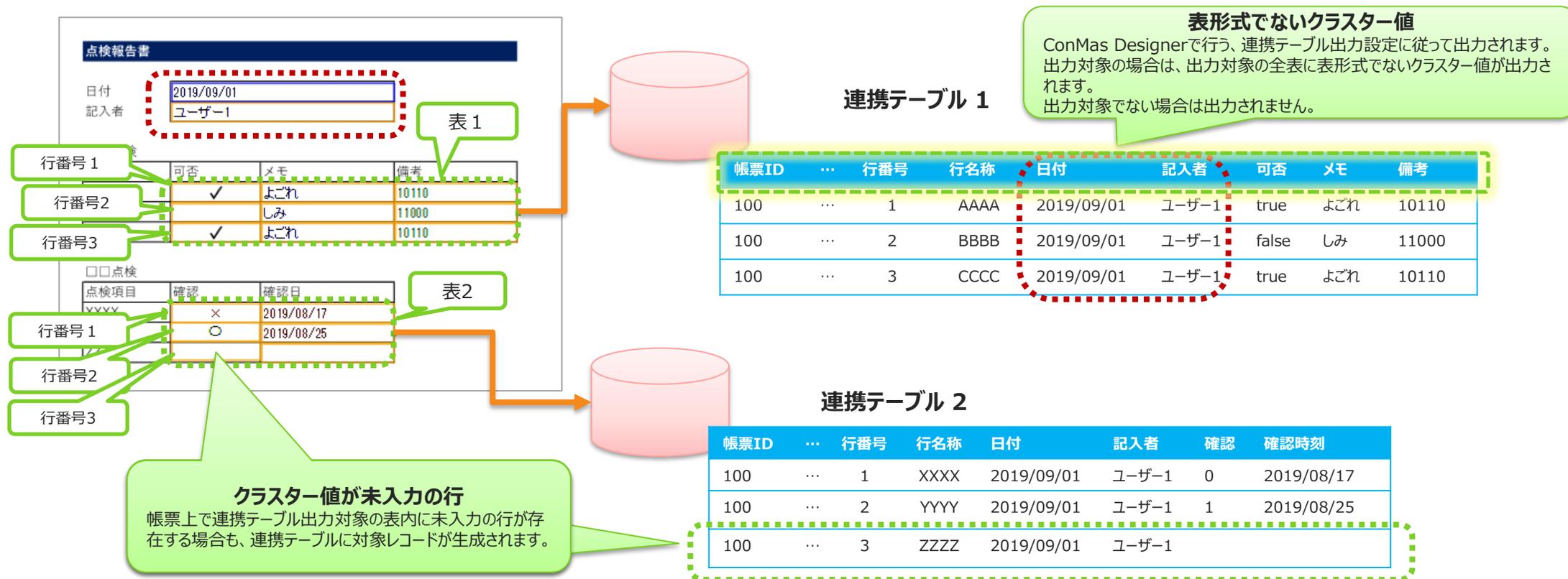
<注意事項>

- 連携テーブルではヘッダはデータベーステーブルカラムの値となり、図のように日本語では表示されません。詳しくは、「単票形式 連携テーブル、連携ビューの名称」を参照ください。

帳票の表ごとに表形式データ出力用の連携テーブルに出力します。

- データ出力単位：帳票ID、表番号、行番号
- ヘッダー：表設定時の列

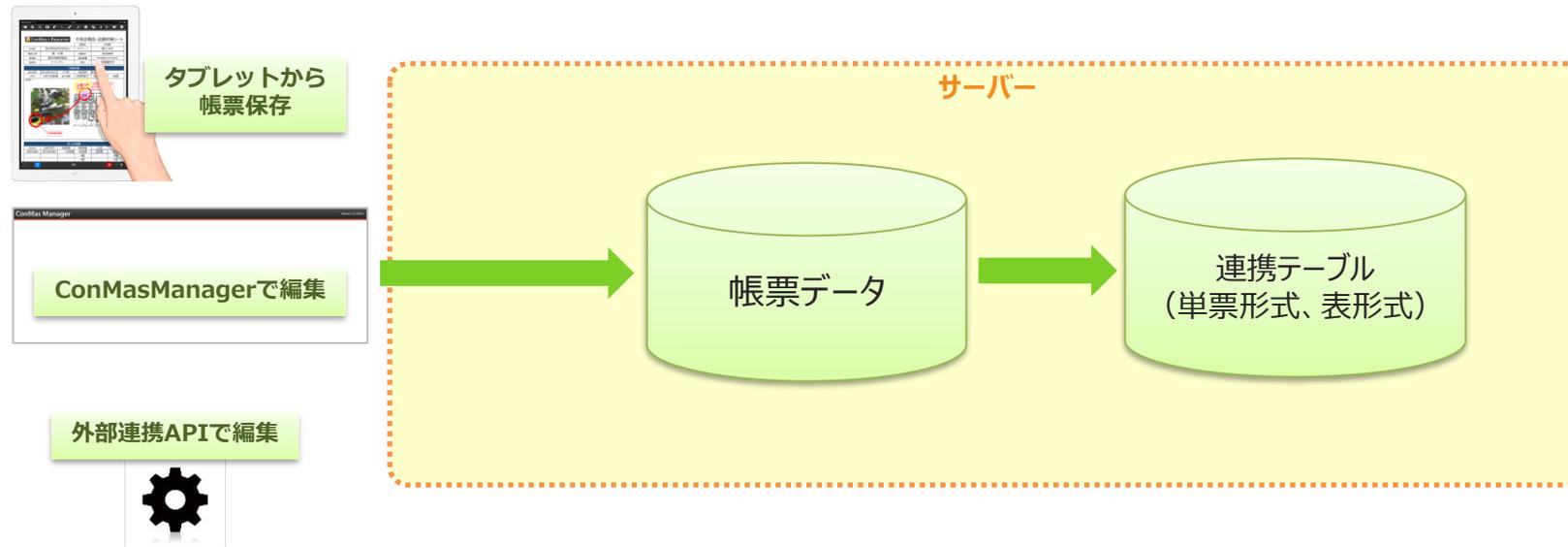
表形式の詳細説明は、「表形式の連携テーブル詳細説明」以降を参照ください。



<注意事項>

- 連携テーブルではヘッダはデータベーステーブルカラムの値となり、図のように日本語では表示されません。詳しくは、「表形式 連携テーブル、連携ビューの名称」を参照ください。

帳票を新規保存、変更保存、完了保存したタイミングで連携テーブルに出力します。



帳票定義毎に連携テーブル機能の使用有無を設定することで連携テーブルを自動生成します。

■ 帳票定義情報設定画面での設定

- ConMas Designerで連携テーブルを使用する帳票定義を読み込みます。
- 「帳票定義情報設定」タブをクリックし、設定画面を表示します。
- 「**■ 連携用テーブルの作成 (BI等との連携用)**」を“作成する (全項目)”または“作成する (対象項目を選択)” に設定します。

※ 帳票定義の全を連携テーブルに出力したい場合は“**作成する (全項目)**”を選択します。

帳票定義の一部のクラスターを連携テーブルに出力したい場合は“**作成する (対象項目を選択)**”を選択します。[推奨]
それぞれの設定詳細については、次頁以降を参照ください。

帳票定義情報設定

連携用テーブルの作成 (BI等との連携用)

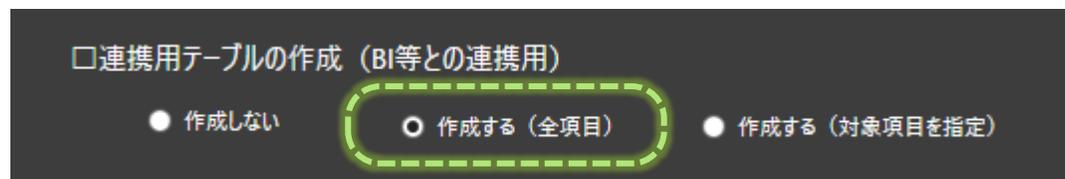
作成しない 作成する (全項目) 作成する (対象項目を指定)

「連携テーブルの作成」を“する”に設定した定義をサーバー保存することで、連携テーブルが自動で生成されます。

連携用テーブルの作成 (BI等との連携用)

作成しない 作成する (全項目) 作成する (対象項目を指定)

帳票定義内の全クラスターを連携テーブルに出力する場合に選択します。



- 単票形式
定義内の全クラスターを連携テーブル出力します。 ※表設定に含まれるクラスターも全て出力します。
- 表形式 ※EXCEL COM Add-inで表設定を行っている場合のみ、単票形式のテーブルとは別に表設定毎に表形式のテーブルを作成します。
定義内の全クラスター、全表を連携テーブルに出力します。

<注意事項>

- 1帳票定義あたりの連携対象クラスター数の制限は1572です。
ただし、連携できるデータ量には制限があるため、1クラスターのデータ量が多い場合にはクラスター数の制限に満たなくてもタブレット上から帳票を保存できなくなります。
帳票内にクラスターが多い場合は、“作成する (対象項目を指定)” を選択することを推奨します。

連携テーブルの作成 - 対象項目を指定

BI

CSV

帳票定義内の指定したクラスター、または表のみを連携テーブルに出力する場合に選択します。[推奨]

連携用テーブルの作成 (BI等との連携用)

作成しない

作成する (全項目)

作成する (対象項目を指定)

- 単票形式
クラスター設定「連携テーブルに出力」にチェックをいれたクラスターのみを出力します。
- 表形式 ※EXCEL COM Add-inで表設定を行っている場合のみ、表設定毎に表形式のテーブルを作成します。
クラスター設定「連携テーブルに出力」にチェックをいれたクラスターと、EXCEL COM Add-in表設定の「連携テーブルに出力する」にチェックした表のみを出力します。

クラスター設定

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前

種別

帳票コピー時に 入力値をコピーしない。
帳票コピー時に デフォルト表示の設定を有効にする。

iPhoneのリスト形式時の表示 iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。
このクラスターにフォーカスして 入力待ちの状態で起動する。
連携用テーブル 連携用テーブルに出力

制約 必須入力

表設定

表設定

表一覧

1. 測定票

表設定

表番号

表名称

連携テーブルに出力する

列名称	器具下	器具間	部屋隔	完了チェック
列キー	F_001	F_002	F_003	F_004
列型	数値	数値	数値	テキスト
クラスター種別	数値	数値	数値	チェック

行名称	1	2	3	4
リビング	9. リビング器具下	10. リビング器具間	11. リビング部屋隔	12. リビング完了子
廊下	13. 廊下器具下	14. 廊下器具間	15. 廊下部屋隔	16. 廊下完了子
キッチン	17. キッチン器具	18. キッチン器具間	19. キッチン部屋隔	20. キッチン完了子

1定義毎の連携設定可能なクラスター数は、最大1572項目です。

最大数を超える連携設定を行った場合、ConMas Designerでの定義公開(またはテスト公開)時に次のようなエラーが表示されます。

エラーが表示された場合は、連携クラスター数を減らしてください。

※ご利用のバージョンによって、エラーメッセージの文言に差異があります。

■ 公開(テスト公開)対象の定義内の連携クラスター数が1572を超えている場合 [12101]

エラーメッセージ	アプリバージョン条件
連携テーブルの出力対象クラスター数が制限値を超えています。 [12101]	ConMas Manager : V8.1.24020 以上 かつ ConMas Designer : V8.1.24020 以上
保存に失敗しました。 エラーコード[12101]	ConMas Manager : V8.1.24020 以上 かつ ConMas Designer : V8.1.23100 より前

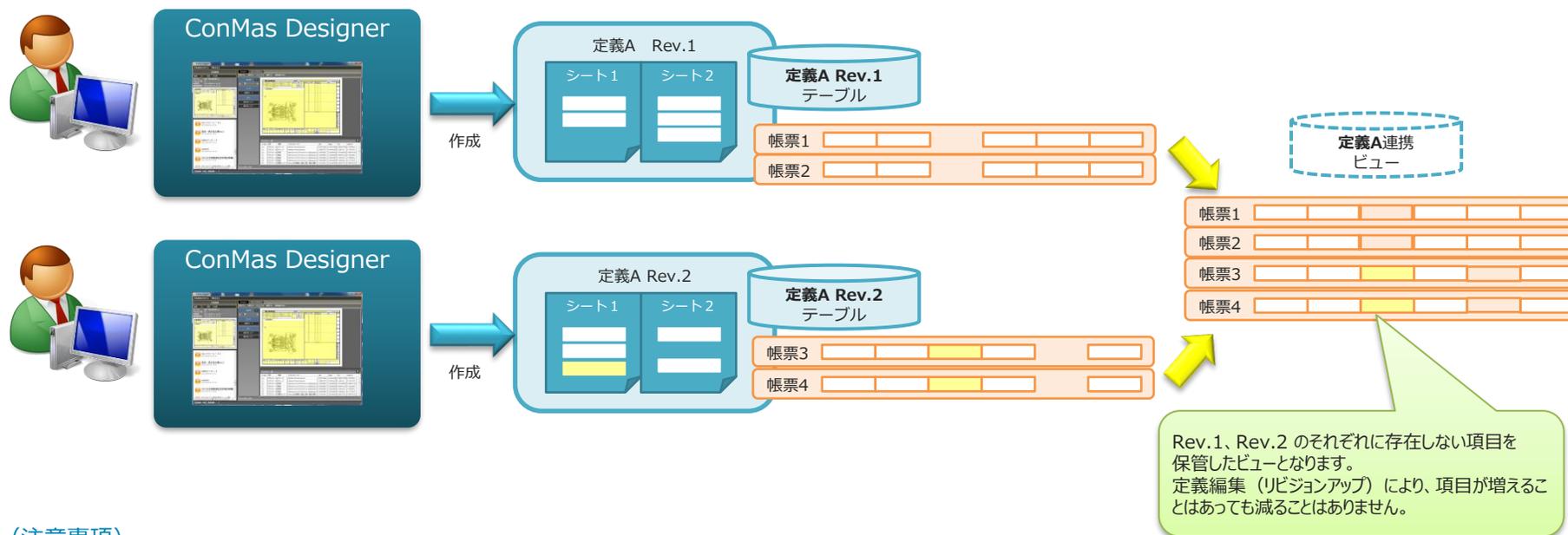
■ 公開(テスト公開)対象の定義で、過去リビジョンを含めた連携対象クラスター数が1572を超えている場合 [12102]

エラーメッセージ	アプリバージョン条件
連携テーブルの出力対象クラスター数が制限値を超えています。 [12102]	ConMas Manager : V8.1.24020 以上 かつ ConMas Designer : V8.1.24020 以上
保存に失敗しました。 エラーコード[12102]	ConMas Manager : V8.1.24020 以上 かつ ConMas Designer : V8.1.23100 より前

外部システムから連携テーブルを参照する場合は基本的に「連携ビュー」を使用して参照します。

- 連携ビューを参照することで、定義修正によるリビジョンアップに対応します。
- 連携ビューは過去に公開された旧リビジョン定義から作成された帳票を含めて参照可能です。
- 定義編集により項目の増減があった場合も、旧リビジョンを含めたすべての項目を参照します。
- 連携ビューの項目は定義のリビジョンアップにより増えることはあっても、減ることはありません。
- ConMasManager、外部連携APIから参照できるのは連携ビューとなります。

※ [連携テーブル と 連携ビュー の関係]



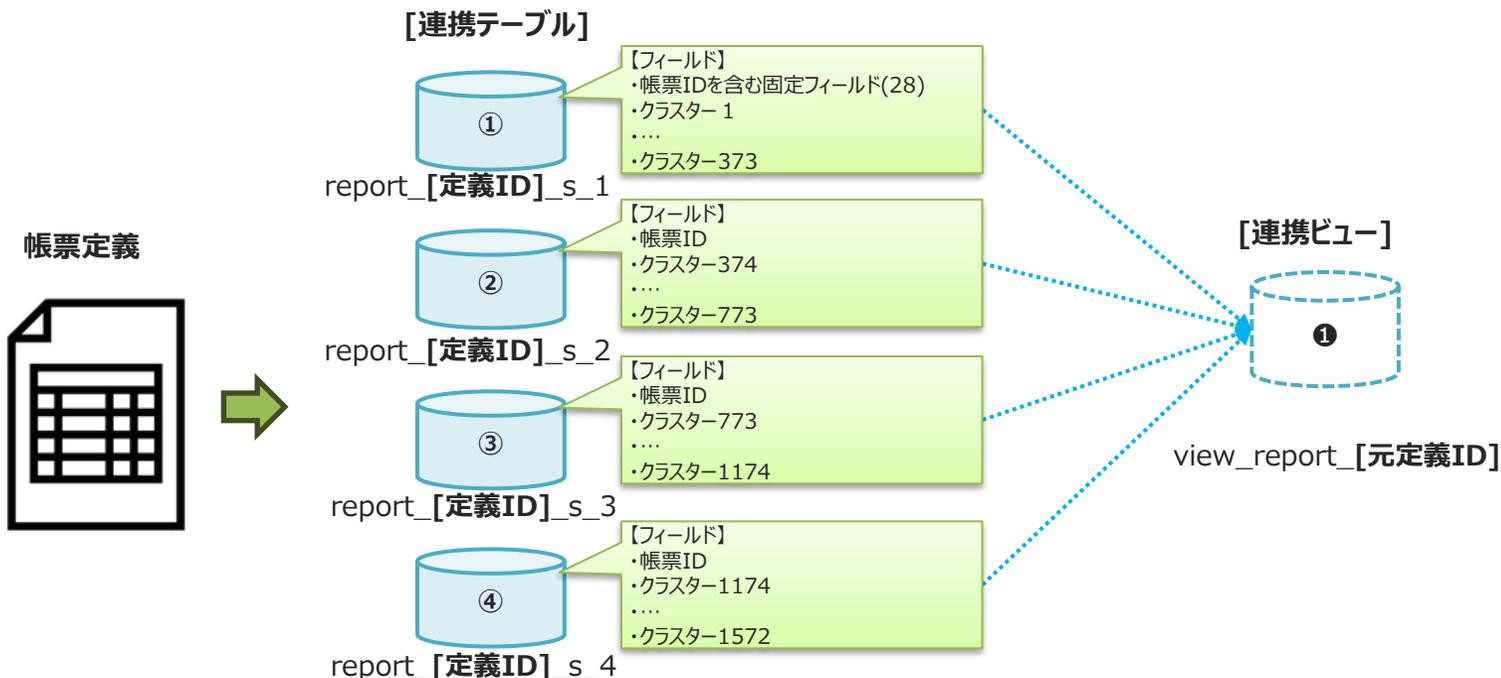
(注意事項)

- 連携ビューは「公開」保存時のみ生成（再生成）されます。
- 「テスト」で新規保存された場合、連携テーブルは生成されますが、連携ビューは存在しません。
- 公開された定義を「テスト」保存した場合、テスト保存された定義から作成された帳票データは連携ビューに含まれません。
- 「テスト」保存された定義を「テスト」保存で更新した場合は、連携テーブルが再生成されます。（登録済みのテスト帳票データは失われます）
- 「非公開」保存した定義は連携テーブルも生成されません。

単票形式の連携テーブル詳細説明

単票形式の連携テーブル、連携ビューは、下記のように作成されます。

- 連携テーブル：帳票定義のリビジョン毎に、連携対象のクラスター数に応じて最大4つのテーブルが作成されます。(テーブル作成数については下表を参照ください)
- 連携ビュー：帳票定義の全リビジョンを通して1つのビューが作成されます。



■ 連携テーブル作成数

1定義内の連携クラスター数	連携テーブル数
1 ~ 373	1
374 ~ 773	2
774 ~ 1173	3
1174 ~ 1572	4

※1定義毎の連携設定可能なクラスター数は最大1572

<注意事項>

- ConMas Manager V8.1.24020より前のバージョンからi-Reporterをご利用の場合、連携テーブル作成時に1つのテーブルとして作成されるため、多数のクラスターを連携すると、レコード容量制限に抵触し、アプリからの帳票保存ができなくなる場合があります。
- ConMas Manager V8.1.24020より前のバージョンの単票形式については「単票形式 (テーブル分割しない)」以降の説明を参照ください。
- 連携テーブル作成方法を V8.1.24020より前の単票形式(テーブル分割しない) から V8.1.24020以降の単票形式 (テーブル分割する) に設定を変更する場合は、「**単票形式(分割しない) から (分割する)への変更手順**」を参照ください。

連携テーブル名称は定義固有の「定義ID」、連携ビュー名称は「元定義ID」を用います。

- 連携テーブルのテーブル名称

- ①report_[定義ID]_s_1
- ②report_[定義ID]_s_2
- ③report_[定義ID]_s_3
- ④report_[定義ID]_s_4

※連携クラスター数に応じて作成するテーブル数が増加します。

- 連携ビューのビュー名称

- ①view_report_[元定義ID]

※連携ビューは複数ビジョンを統合して参照するため、「元定義ID」が名称になります。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface with a table of definitions. The table has columns for ID, 定義名称, 元ID, REV, 自動, and 登録日. A blue callout points to the 'ID' column (881) for the row '[#3599]アクションクラスターテスト_2', labeling it as '定義ID (連携テーブル名称に使用)'. A green callout points to the '元ID' column (837) for the same row, labeling it as '元定義ID (連携ビュー名称に使用)'.

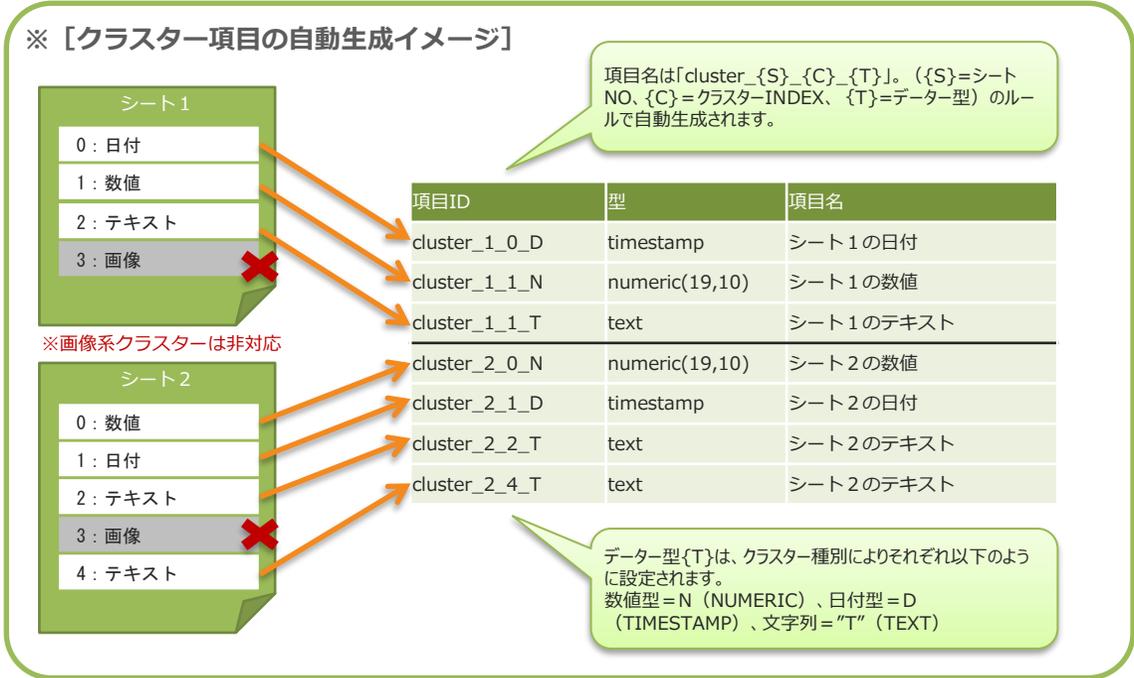
ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日
889	#636_テスト帳票	889	1	対象外	201
888	[V3.2]サンプル帳票SY	880	8	対象	201
881	[#3599]アクションクラスターテスト_2	837	8	対象外	201
877	稼働時間報告書	877		対象外	201
871	[V3.2]サンプル	870	2	対象外	201
869	Designerマニュアル用	856	4	対象外	201
866	[V3.1_Sample]不具合報告&品質対策シート V3.1デモサンプル	323	10	対象外	201

(注意事項)

- 連携テーブル、連携ビューは定義を削除してもデータベースからは削除されません。
- 連携テーブル、連携ビューの削除が必要な場合は、postgresql管理ツール「pgAdmin」により手動で削除してください。

クラスター項目について

- クラスター入力値を格納する項目です。
- 定義毎に項目数、データ型が異なります。
- 連携テーブル（ビュー）内で項目名が一意になるように項目名が自動で命名されます。
- 項目名は「cluster_{S}_{C}_{T}」。({S}=シートNO、{C}=クラスターINDEX、{T}=データ型)
- データ型{T}は、クラスター種別によりそれぞれ以下のように設定されます。
 数値型=N (NUMERIC)、日付型=D (TIMESTAMP)、文字列="T" (TEXT)、計算式の時刻="I" (INTERVAL)



※ [クラスター種別・データ型対応表]

クラスター種別	データ型
手書きノート形式 手書きフリーメモ フリードロー 画像	× (非対応)
数値 数値選択 計算式 (結果が数値) トグル選択 トグル集計 時間数 時刻計算	numeric(19,5) ※
年月日 カレンダー年月日 帳票登録年月日 帳票更新年月日 計算式 (結果が日付)	Timestamp
計算式 (結果が時刻)	interval
(その他のクラスター種別)	text

日付、数値型にすることにより、SQLでのデータを集計が可能になります。

- (注意事項)
- 画像系のクラスターには対応していません。画像系クラスターはクラスター項目が作成されません。
 - シートコピー機能には対応していません。シートコピー機能で追加されたクラスター項目は、連携テーブルに格納されません。
 - 計算式クラスターの結果が“数値”の場合は数値、日付の場合はTIMESTAMP、時刻の場合はINTERVALとなります。

※V7.2.20070より前のバージョンは numeric(14,5)

■ 連携テーブル1 「report_[定義ID]_s_1」の項目

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
rep_top_name	text,	帳票名称	[共通項目]
public_status	numeric(1,0),	公開ステータス	[共通項目] 0:非公開、1:テスト、2:公開
edit_refer_status	numeric(1,0),	編集ステータス	[共通項目] 0:入力前、1:編集中、2:承認待ち、3:差し戻し、4:入力完了
rep_top_org	integer,	元帳票 I D	[共通項目]
rev_no	integer,	リビジョンNO	[共通項目]
def_top_id	integer,	定義 I D	[共通項目]
report_type	numeric(1,0),	帳票種別	[共通項目] 1:シート、2:セット
rep_sheet_count	integer,	シート帳票ページ数	[共通項目]
display_sheet_number	text,	シート表示順	[共通項目]
server_version	text,	サーバーバージョン	[共通項目]
top_remarks1	text,	備考情報 1	[共通項目]
top_remarks2	text,	備考情報 2	[共通項目]
top_remarks3	text,	備考情報 3	[共通項目]
top_remarks4	text,	備考情報 4	[共通項目]
top_remarks5	text,	備考情報 5	[共通項目]
top_remarks6	text,	備考情報 6	[共通項目]
top_remarks7	text,	備考情報 7	[共通項目]
top_remarks8	text,	備考情報 8	[共通項目]
top_remarks9	text,	備考情報 9	[共通項目]
top_remarks10	text,	備考情報 1 0	[共通項目]
Deleted	numeric(1,0),	削除フラグ	[共通項目]
sys_regist_term	text,	登録端末	[共通項目]
sys_regist_user	text,	登録者	[共通項目]
sys_regist_time	timestamp	登録日時	[共通項目]
sys_update_term	text,	更新端末	[共通項目]
sys_update_user	text,	更新者	[共通項目]
sys_update_time	timestamp	更新日時	[共通項目]
[クラスター 1]	...		
...	...		
[クラスター373]	...		

※共通項目について

- 全ての連携テーブル(ビュー)は共通項目として帳票基本情報が格納されます。
- 共通項目は全ての連携テーブル(ビュー)名称とデータ型が同じです。

■ 連携テーブル2 「report_[定義ID]_s_2」の項目

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
[クラスター374]	...		
...	...		
[クラスター773]	...		

■ 連携テーブル3 「report_[定義ID]_s_3」の項目

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
[クラスター774]	...		
...	...		
[クラスター1173]	...		

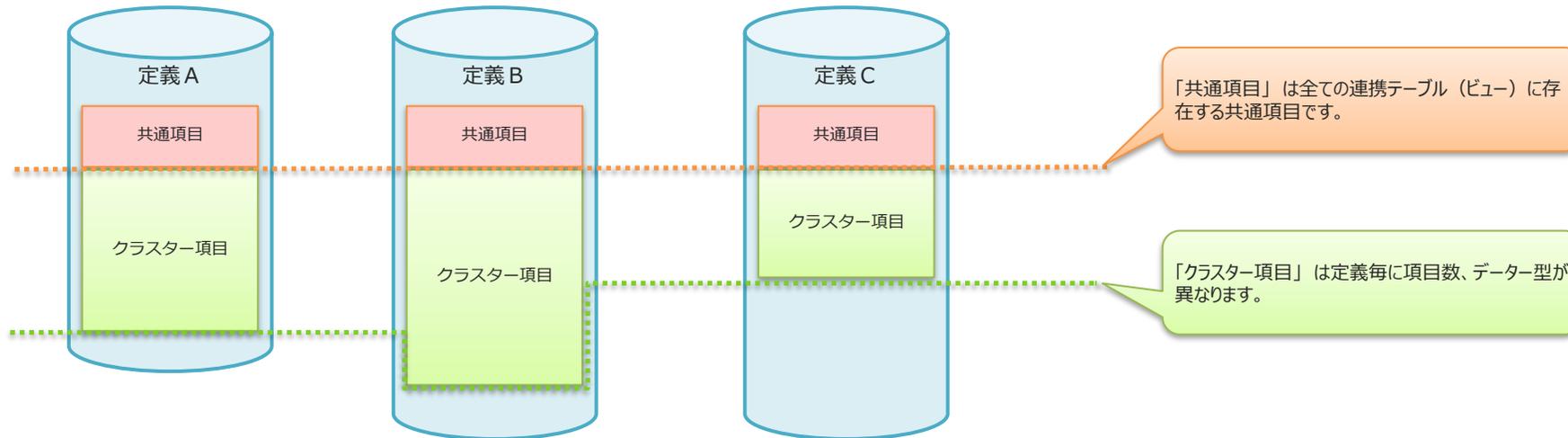
■ 連携テーブル4 「report_[定義ID]_s_4」の項目

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
[クラスター1174]	...		
...	...		
[クラスター1572]	...		

連携テーブル（ビュー）の項目は、「共通項目」と「クラスター項目」で構成されます。

- 「共通項目」は全ての連携テーブル（ビュー）に存在する共通項目です。
- 「クラスター項目」クラスター入力値を格納する項目です。
- 「クラスター項目」は定義毎に項目数、データ型が異なります。

※ [共通項目 と クラスター項目のイメージ]



■ 連携ビュー「view_report_[元定義ID]」の項目

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
rep_top_name	text,	帳票名称	[共通項目]
public_status	numeric(1,0),	公開ステータス	[共通項目] 0:非公開、1:テスト、2:公開
edit_refer_status	numeric(1,0),	編集ステータス	[共通項目] 0:入力前、1:編集中、2:承認待ち、3:差し戻し、4:入力完了
rep_top_org	integer,	元帳票 I D	[共通項目]
rev_no	integer,	リビジョンNO	[共通項目]
def_top_id	integer,	定義 I D	[共通項目]
report_type	numeric(1,0),	帳票種別	[共通項目] 1:シート、2:セット
rep_sheet_count	integer,	シート帳票ページ数	[共通項目]
display_sheet_number	text,	シート表示順	[共通項目]
server_version	text,	サーバーバージョン	[共通項目]
top_remarks1	text,	備考情報 1	[共通項目]
top_remarks2	text,	備考情報 2	[共通項目]
top_remarks3	text,	備考情報 3	[共通項目]
top_remarks4	text,	備考情報 4	[共通項目]
top_remarks5	text,	備考情報 5	[共通項目]
top_remarks6	text,	備考情報 6	[共通項目]
top_remarks7	text,	備考情報 7	[共通項目]
top_remarks8	text,	備考情報 8	[共通項目]
top_remarks9	text,	備考情報 9	[共通項目]
top_remarks10	text,	備考情報 1 0	[共通項目]
Deleted	numeric(1,0),	削除フラグ	[共通項目]
sys_regist_term	text,	登録端末	[共通項目]
sys_regist_user	text,	登録者	[共通項目]
sys_regist_time	timestamp	登録日時	[共通項目]
sys_update_term	text,	更新端末	[共通項目]
sys_update_user	text,	更新者	[共通項目]
sys_update_time	timestamp	更新日時	[共通項目]
[クラスター 1]	...		
...	...		
[クラスター1572]	...		

※共通項目について

- 全ての連携テーブル(ビュー)は共通項目として帳票基本情報が格納されます。
- 共通項目は全ての連携テーブル(ビュー)名称とデータ型が同じです。

以下のいずれかの条件に該当する場合、単票形式の連携テーブルは、帳票定義毎に1テーブル(テーブル分割しない)で作成されます。

【条件】

- ご利用のConMas Manager バージョンが V8.1.24020より前のバージョンである
- ご利用のConMas Manager バージョンが V8.1.24020以上である、かつ
共通キー(COOPERATION_TABLE_SETTING/DIVIDE_TABLE_MODE)が “0”に設定されている

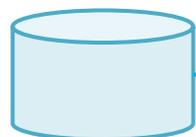
共通キー	共通項目名称	共通値
COOPERATION_TABLE_SETTING	DIVIDE_TABLE_MODE	0:単票形式(分割しない) 1:単票形式(分割する)

■ テーブル、ビュー作成イメージ

帳票定義



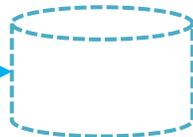
連携テーブル



report_[定義ID]

【フィールド】
・帳票IDを含む固定フィールド(28)
・クラスター 1
・...
・クラスター 1572

連携ビュー



view_report_[元定義ID]

<注意事項>

- 単票形式(分割しない)は1レコードの容量制限があります。
- ConMas Manager V8.1.24020より前のバージョンからi-Reporterをご利用の場合、連携テーブル作成時に1つのテーブルとして作成されるため、多数のクラスターを連携すると、レコード容量制限に抵触し、アプリからの帳票保存ができなくなる場合があります。
- 連携テーブル作成方法を V8.1.24020より前の単票形式(テーブル分割しない) から V8.1.24020以降の単票形式 (テーブル分割する) に設定を変更する場合は、「[単票形式\(分割しない\) から \(分割する\)への変更手順](#)」を参照ください。

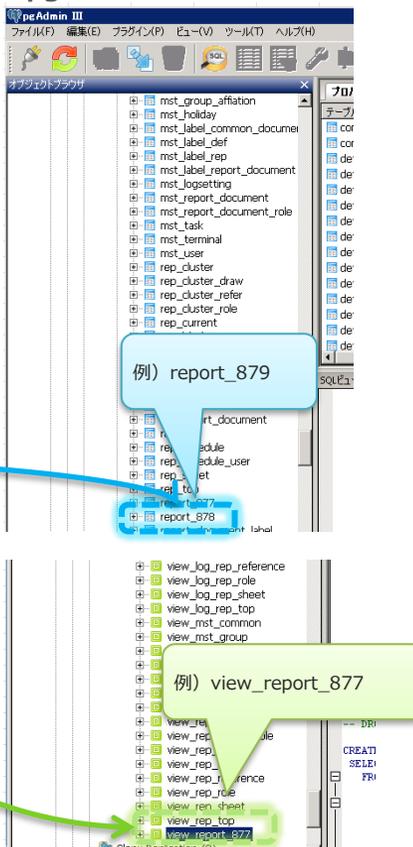
連携テーブルは定義固有の「定義ID」、連携ビューは「元定義ID」に基づき自動命名されます。

- 連携テーブルのテーブル名称：「report_[定義ID]」
- 連携ビューのビュー名称：「view_report_[元定義ID]」
※連携ビューは複数リビジョンを統合して参照するため「元定義ID」を使用します

[ConMasManager 定義一覧画面]

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日
889	#636_テスト帳票	889	1	対象外	2014
888	[V3.2]サンプル帳票SY	880	8	対象	2014
887	[#3599]アクションクラスターテスト_2	837	8	対象外	2014
879	稼働時間報告書	877	?	対象外	2014
874	[iga]マニュアル用	73	2	対象外	2014
	[sample]不具合報告&品質対策シート			対象	2014
	サンプル				2014
	ignerマニュアル用	856	4	対象外	2014

[pgAdminIII 画面]



(注意事項)

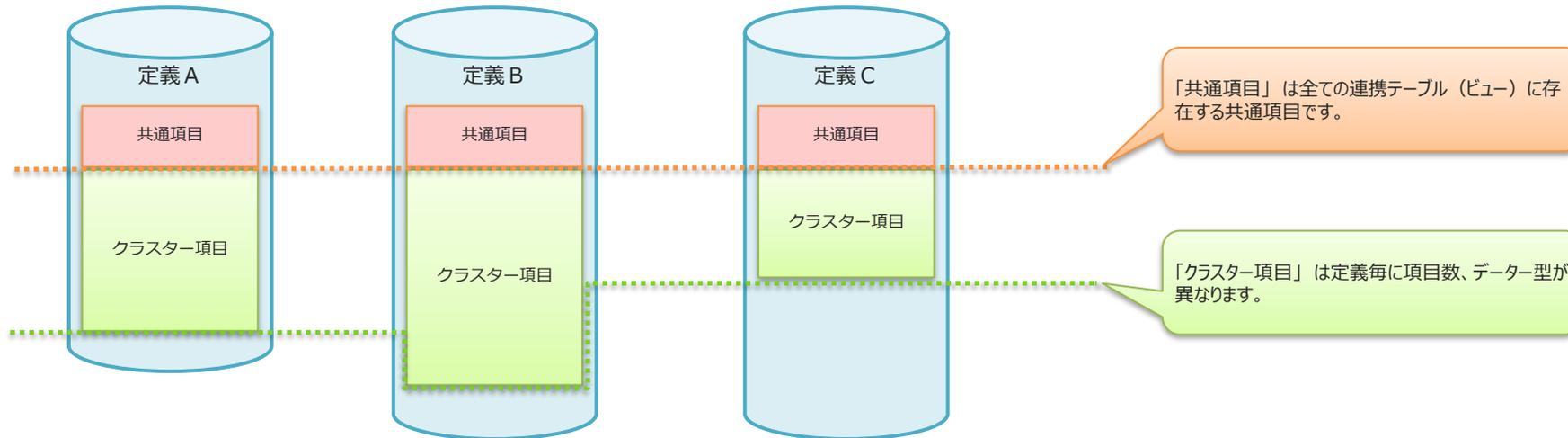
- 連携テーブル、連携ビューは定義を削除してもデータベースからは削除されません。
- 連携テーブル、連携ビューの削除が必要な場合は、postgreSQL管理ツール「pgAdmin」により手動で削除してください。

連携テーブル（ビュー）の項目は、「共通項目」と「クラスター項目」で構成されます。

- 「共通項目」は全ての連携テーブル（ビュー）に存在する共通項目です。
- 「クラスター項目」クラスター入力値を格納する項目です。
- 「クラスター項目」は定義毎に項目数、データ型が異なります。

※連携ビューの項目はV8.1.24020前後で変更はありません

※ [共通項目 と クラスター項目のイメージ]



■ 連携ビュー「view_report_[元定義ID]」の項目 ※連携ビューの項目はV8.1.24020前後で変更はありません

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	[共通項目]
rep_top_name	text,	帳票名称	[共通項目]
public_status	numeric(1,0),	公開ステータス	[共通項目] 0:非公開、1:テスト、2:公開
edit_refer_status	numeric(1,0),	編集ステータス	[共通項目] 0:入力前、1:編集中、2:承認待ち、3:差し戻し、4:入力完了
rep_top_org	integer,	元帳票 I D	[共通項目]
rev_no	integer,	リビジョンNO	[共通項目]
def_top_id	integer,	定義 I D	[共通項目]
report_type	numeric(1,0),	帳票種別	[共通項目] 1:シート、2:セット
rep_sheet_count	integer,	シート帳票ページ数	[共通項目]
display_sheet_number	text,	シート表示順	[共通項目]
server_version	text,	サーバーバージョン	[共通項目]
top_remarks1	text,	備考情報 1	[共通項目]
top_remarks2	text,	備考情報 2	[共通項目]
top_remarks3	text,	備考情報 3	[共通項目]
top_remarks4	text,	備考情報 4	[共通項目]
top_remarks5	text,	備考情報 5	[共通項目]
top_remarks6	text,	備考情報 6	[共通項目]
top_remarks7	text,	備考情報 7	[共通項目]
top_remarks8	text,	備考情報 8	[共通項目]
top_remarks9	text,	備考情報 9	[共通項目]
top_remarks10	text,	備考情報 1 0	[共通項目]
Deleted	numeric(1,0),	削除フラグ	[共通項目]
sys_regist_term	text,	登録端末	[共通項目]
sys_regist_user	text,	登録者	[共通項目]
sys_regist_time	timestamp	登録日時	[共通項目]
sys_update_term	text,	更新端末	[共通項目]
sys_update_user	text,	更新者	[共通項目]
sys_update_time	timestamp	更新日時	[共通項目]
[クラスター 1]	...		
...	...		
[クラスター1572]	...		

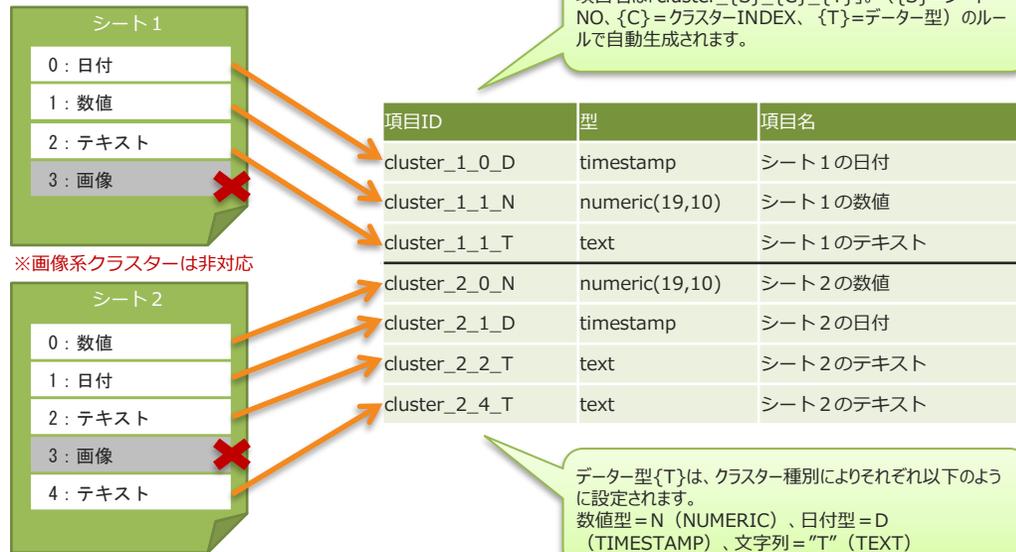
※共通項目について

- 全ての連携テーブル(ビュー)は共通項目として帳票基本情報が格納されます。
- 共通項目は全ての連携テーブル(ビュー)名称とデータ型が同じです。

クラスター項目について ※クラスター項目はV8.1.24020前後で変更はありません

- クラスター入力値を格納する項目です。
- 定義毎に項目数、データ型が異なります。
- 連携テーブル（ビュー）内で項目名が一意になるように項目名が自動で命名されます。
- 項目名は「cluster_{S}_{C}_{T}」 （※{S}=シートNO、{C}=クラスターINDEX、{T}=データ型）
- データ型{T}は、クラスター種別によりそれぞれ以下のように設定されます。
数値型=N（NUMERIC）、日付型=D（TIMESTAMP）、文字列="T"（TEXT）、計算式の時刻="I"（INTERVAL）

※【クラスター項目の自動生成イメージ】



※【クラスター種別・データ型対応表】

クラスター種別	データ型
手書きノート形式 手書きフリーメモ フリードロー 画像	×（非対応）
数値 数値選択 計算式（結果が数値） トグル選択 トグル集計 時間数 時刻計算	numeric(19,5) ※
年月日 カレンダー年月日 帳票登録年月日 帳票更新年月日 計算式（結果が日付）	Timestamp
計算式（結果が時刻）	interval
（その他のクラスター種別）	text

日付、数値型にすることにより、SQLでのデータの集計が可能になります。

（注意事項）

- 画像系のクラスターには対応していません。画像系クラスターはクラスター項目が作成されません。
- シートコピー機能には対応していません。シートコピー機能で追加されたクラスター項目は、連携テーブルに格納されません。
- 計算式クラスターの結果が“数値”の場合は数値、日付の場合はTIMESTAMP、時刻の場合はINTERVALとなります。

※V7.2.20070より前のバージョンは numeric(14,5)

■ 単票形式(分割しない) から 単票形式(分割する) 方法へ変更する手順

1. ConMas Managerの [システム管理] > [共通マスター管理] を表示します。
2. 共通キー [COOPERATION_TABLE_SETTING] > 共通項目名称[DIVIDE_TABLE_MODE]の共通項目値を“0” から“1” に変更します。
3. ConMas Designerで、テーブル作成方法を変更したい帳票定義を開きます。
4. 帳票定義を“公開” (または“テスト”)し、帳票定義のリビジョンを更新します。

※“テーブル分割する”に変更されるのは、更新したリビジョンで作成された帳票定義および、更新後の帳票定義を元に作成された帳票データのみです。
更新前の定義および更新前の定義を元に作成された帳票データは引き続き“分割しない”方法で保存されます。

■ 関連する共通キー

共通キー	共通項目名称	共通値
COOPERATION_TABLE_SETTING	DIVIDE_TABLE_MODE	0:単票形式(分割しない) 1:単票形式(分割する)

【注意事項】 ※分割方法変更の前に必ずご確認ください。

- 連携テーブルの作成方法を変更する場合、変更前と変更後では作成される連携テーブルの物理名が変更されます。連携テーブルを用いた連携開発をされている場合、クエリで使用している連携テーブル名称を変更する必要があります。
- 一度連携テーブルの作成方法を“分割する”に変更した帳票定義は、“分割しない”方法に戻すことはできません。共通キーの設定を“1”から“0”に戻しても、引き続き“分割する”方法で連携テーブルが作成され続けます。

連携テーブル作成方法	連携テーブル名
分割しない	report_[定義ID]
分割する	report_[定義ID]_s_1 report_[定義ID]_s_2 report_[定義ID]_s_3 report_[定義ID]_s_4

表形式の連携テーブル詳細説明

表形式 連携テーブル、連携ビューの名称

BI

連携テーブルは定義固有の「定義ID」、連携ビューは「元定義ID」に基づき自動命名されます。

- 連携テーブルのテーブル名称：「report_[定義ID]_[表番号]」
 - 連携ビューのビュー名称：「view_report_[元定義ID]_[表番号]」
- ※連携ビューは複数リジョンを統合して参照するため「元定義ID」を使用します

※ [ConMasManager 定義一覧画面]

ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
147	【音声入力Sample】初期検定記録 テスト用	147	1	対象外	2020/04/24 13:45	yoshida	2020/04/24 13:45	yoshida
146	【音声入力Sample】照明照度測定記録	146	1	対象外	2020/04/24 13:24	yoshida	2020/04/24 13:24	yoshida
145	【音声】聴覚表_クラスター各種							
144	【音声】聴覚表_クラスター各種	144		対象	2020/04/24 13:23	yoshida	2020/04/24 13:23	yoshida

定義ID (連携テーブル名称に使用)

元定義ID (連携ビュー名称に使用)

例) report_145_1

例) view_report_144_1

※ [pgAdmin 画面]

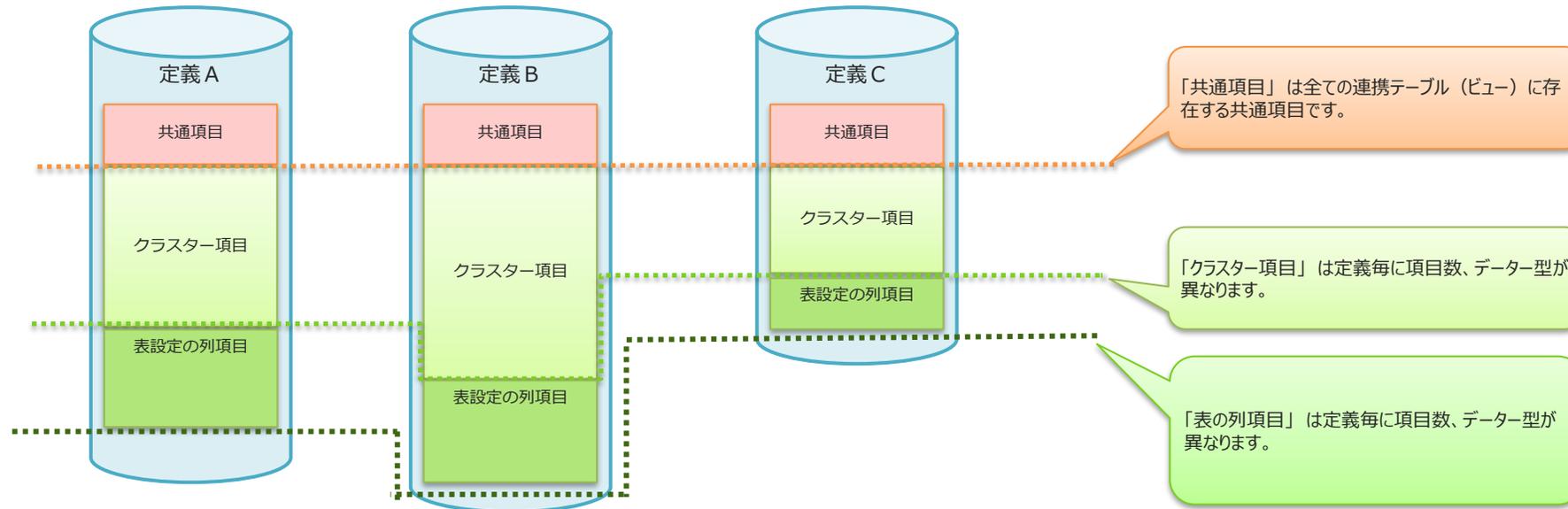
(注意事項)

- 連携テーブル、連携ビューは定義を削除してもデータベースからは削除されません。
- 連携テーブル、連携ビューの削除が必要な場合は、postgreSQL管理ツール「pgAdmin」により手動で削除してください。

連携テーブル（ビュー）の項目は、「共通項目」と「クラスター項目」、「表設定の列項目」で構成されます。

- 「共通項目」は全ての連携テーブル（ビュー）に存在する共通項目です。
- 「クラスター項目」 クラスター入力値を格納する項目です。
- 「表設定の列」はEXCEL COM Add-inで表設定した際の列項目です。

※ [共通項目 と クラスター項目、表の列項目のイメージ]



共通項目について

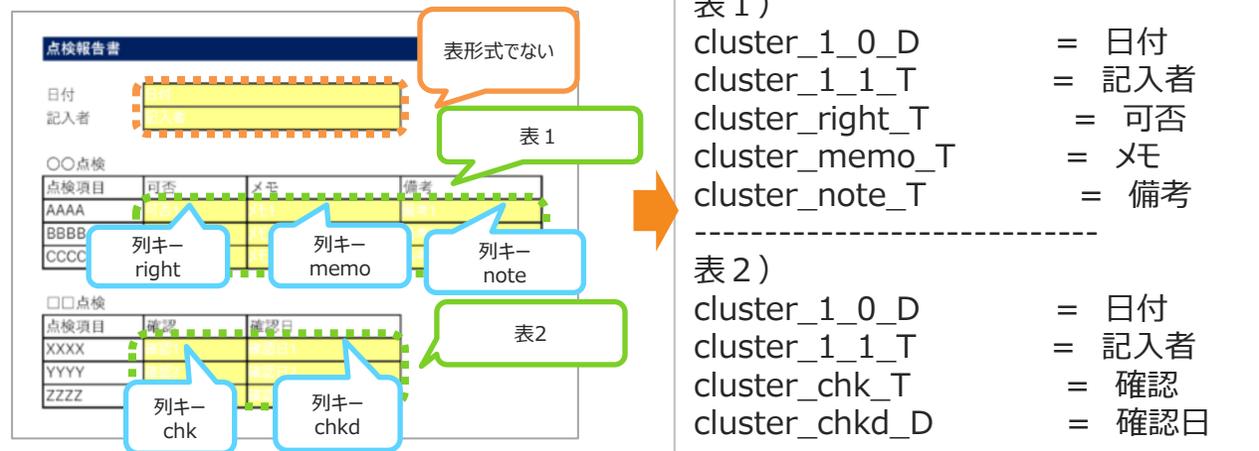
- 全ての連携テーブル（ビュー）は共通項目として帳票基本情報が格納されます。
- 共通項目は全ての連携テーブル（ビュー）名称とデータ型が同じです。

※【共通項目一覧】

項目ID	型	項目名	備考
rep_top_id	integer	帳票 I D	
rep_row_no	Integer	行番号	
rep_row_name	text	行名称	
rep_top_name	text,	帳票名称	
public_status	numeric(1,0),	公開ステータス	0:非公開、1:テスト、2:公開
edit_refer_status	numeric(1,0),	編集ステータス	0:入力前、1:編集中、2:承認待ち、3:差し戻し、4:入力完了
rep_top_org	integer,	元帳票 I D	
rev_no	integer,	リビジョンNO	
def_top_id	integer,	定義 I D	
report_type	numeric(1,0),	帳票種別	1:シート、2:セット
rep_sheet_count	integer,	シート帳票ページ数	
display_sheet_number	text,	シート表示順	
server_version	text,	サーバーバージョン	
top_remarks1	text,	備考情報 1	
top_remarks2	text,	備考情報 2	
top_remarks3	text,	備考情報 3	
top_remarks4	text,	備考情報 4	
top_remarks5	text,	備考情報 5	
top_remarks6	text,	備考情報 6	
top_remarks7	text,	備考情報 7	
top_remarks8	text,	備考情報 8	
top_remarks9	text,	備考情報 9	
top_remarks10	text,	備考情報 1 0	
deleted	numeric(1,0),	削除フラグ	
sys_regist_term	text,	登録端末	
sys_regist_user	text,	登録者	
sys_regist_time	timestamp	登録日時	
sys_update_term	text,	更新端末	
sys_update_user	text,	更新者	
sys_update_time	timestamp	更新日時	
クラスター項目、表の列項目			

- 表形式でないクラスター項目名**
 「cluster_{S}_{C}_{T}」。(※ {S}=シートNO、{C}=クラスターINDEX、{T}=データ型)
 ※単票形式と同じフィールド名となります。
- 表の列項目名**
 「cluster_{F}_{T}」。(※ {F}=列キー、{T}=データ型)
- データ型{T}は、クラスター種別によりそれぞれ以下のように設定される。
 数値型=N (NUMERIC)、日付型=D (TIMESTAMP)、文字列="T" (TEXT)、時刻型="I"
 表の列項目名は表設定の"列型"となります。

例) 下のような定義の場合



(注意事項)

- 画像系のクラスターには対応していません。画像系クラスターはクラスター項目が作成されません。
- 計算式クラスターの結果が"数値"の場合は数値、日付の場合はTIMESTAMP、時刻の場合はINTERVALとなります。

出力対象クラスター種別と出力値

BI

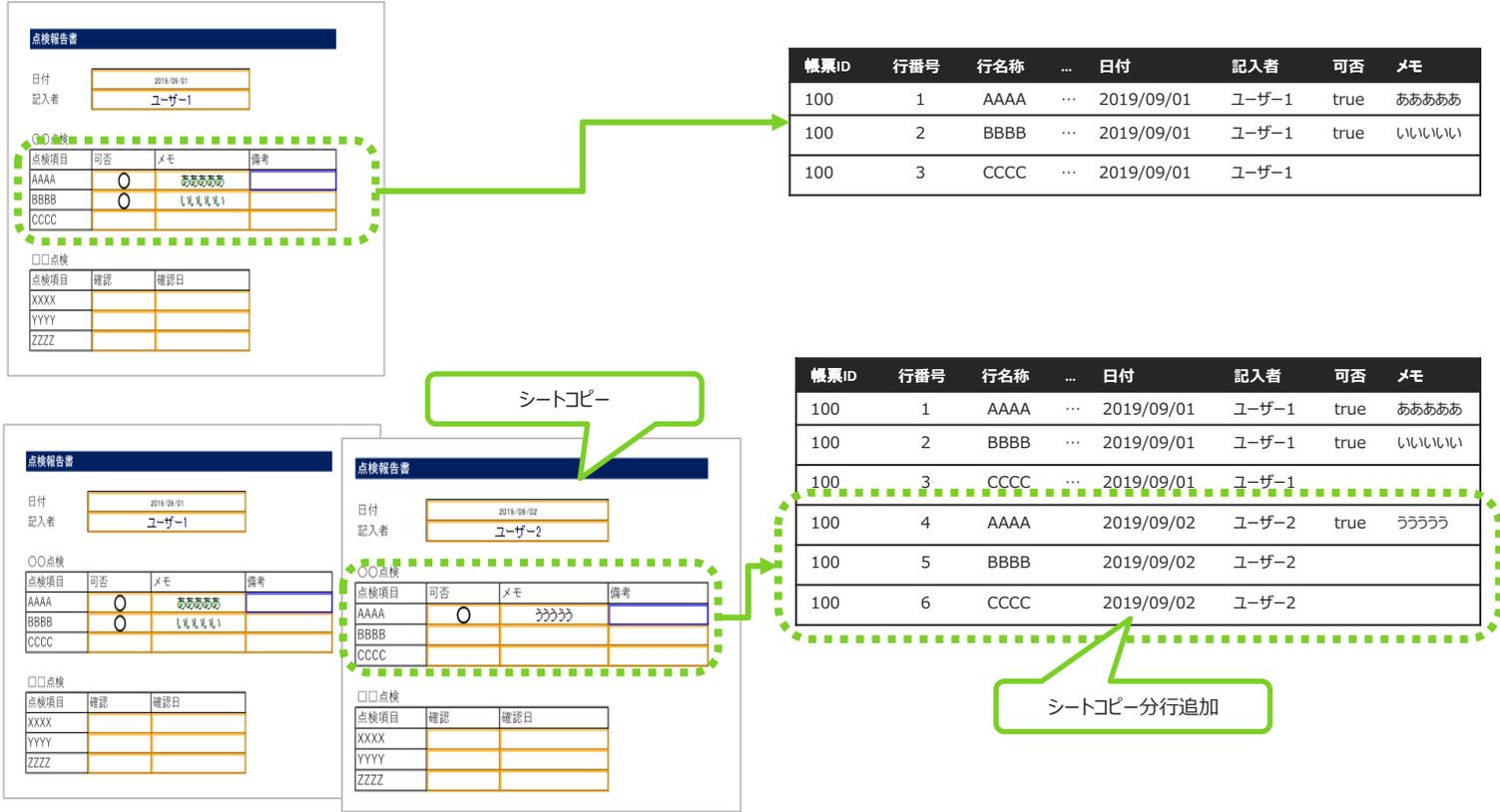
CSV

種別	出力型	出力内容
キーボードテキスト	Text	帳票内容と同じ
手書きデジタル	Text	帳票内容と同じ
数値選択	Numeric	数値のみ
時間数	Numeric	数値のみ
計算式	Numeric Timestamp Interval Text	数値系は数値のみ 日付は日付表示 yyyy/MM/dd HH:mm:ss 時刻は時間間隔表示 その他は帳票内容と同じ（テキスト表示）
年月日	Timestamp	yyyy/MM/dd 00:00:00形式
カレンダー年月日	Timestamp	yyyy/MM/dd 00:00:00形式
時刻	Text	HH:mm:ss形式
時刻計算	Numeric	数値のみ
チェック	Text	true,false
トグル選択	Numeric	選択された“値”を出力
トグル集計	Numeric	
単一選択	Text	選択された“値”を出力
複数選択	Text	選択された“値”をカンマ区切りで出力
作成	Text	4:作成済み
査閲	Text	4:査閲済み
承認	Text	2:承認待ち 3:差戻し 4:承認済み
バーコード	Text	帳票内容と同じ
コードリーダー	Text	帳票内容と同じ
GPS位置情報	Text	帳票内容と同じ
マスター選択	Text	帳票内容と同じ
ログインユーザー	Text	帳票内容と同じ

シートコピーした場合の動作

- 単票形式 : コピーされたシート情報は出力されません。
- 表形式 : コピーされたシート情報は行追加で出力されます。

- 表形式)
- ・行番号はコピー元の最大値以降を採番
 - ・行名称はコピー元と同じ



■ 単票形式、表形式 共通

- 1つの連携ビューに出力できるクラスター、表の列数は、最大で**1572**個までとなります。クラスター数、表の列数は全リビジョン内で追加したクラスター数の合算となります。

例)

Rev1で連携設定クラスター数を10個で公開

Rev2で連携設定クラスターを1個追加

→この場合、10+1で連携クラスター数は11個となります。

この制限を超えると、定義公開時にエラーが発生し、定義を登録できません。

<回避方法>

ConMas Designerで定義作成時に、連携用テーブルの作成設定「作成する（全項目）」ではなく「作成する（対象項目を指定）」を選択し、必要なクラスターのみ出力するように変更します。

特に表形式出力される場合、“全項目”となっていると単票形式にも表形式で設定されたクラスターも出力されますので、「作成する（対象項目を指定）」を設定してください。

- 連携ビューに表示される帳票は、連携用テーブルの作成設定を“作成する”に設定された定義から作成した帳票のみとなります。設定していない帳票は表示されません。
- 定義リビジョン間で、クラスター項目は“シート番号”と“クラスターindex”、“クラスター種別”で同じ項目として引き継ぎます。これらのうち、どれか一つでも変更すると、連携テーブル、ビューでは新規クラスターとして扱われます。リビジョン間で引き継ぎたい場合は、シート番号とクラスターindex、クラスター種別は変更しないようにしてください。
- ピン打ち機能を搭載した帳票定義に対し表設定の連携テーブル設定はできません。ConMas Designerで保存時にサーバーエラーが発生します。本エラー発生時はアドインにて表設定を削除ください。

エラー表示条件	エラーメッセージ
ピン打ち機能を使用している帳票定義に対し、表設定の連携テーブル設定を行う	保存に失敗しました。 エラーコード[1011]

■ 単票形式

- 単票形式には1レコードの容量制限があります。(PostgreSQLの1レコード容量制限(8192バイト)
V8.1.24020より前からi-Reporterをご利用の場合、単票形式の連携テーブルが1テーブルで作成され、多数のクラスターを連携すると、レコード容量制限に抵触し、アプリからの帳票保存ができなくなる場合があります。
連携テーブル作成方法を“テーブル分割しない”から“テーブル分割する”に設定を変更する場合は、「**単票形式(分割しない) から (分割する)への変更手順**」を参照ください。

■表形式

- 表形式の場合、定義リビジョン間で、同じ表の列項目を明示するのは表番号、列キーとなります。これをリビジョン間で変更すると、別表の別列となります。

以下例のような修正を行った場合、定義リビジョン1の列キー“F_001”が「温度」という項目なのに対し定義リビジョン2の列キー“F_001”の「湿度」となっていますが、同一項目として扱われます。
リビジョン間で表番号、列キーの変更は行わないようにしてください。

■定義リビジョン：1

列番号:1	列番号:2	列番号:3
列型:text	列型:text	列型:text
列キー:F_001	列キー:F_002	列キー:F_003
列名称:温度	列名称:湿度	列名称:流量

....

....

....

....

....

....



■定義リビジョン：2

列番号:1	列番号:2	列番号:3
列型:text	列型:text	列型:text
列キー:F_002	列キー:F_001	列キー:F_003
列名称:温度	列名称:湿度	列名称:流量

....

....

....

....

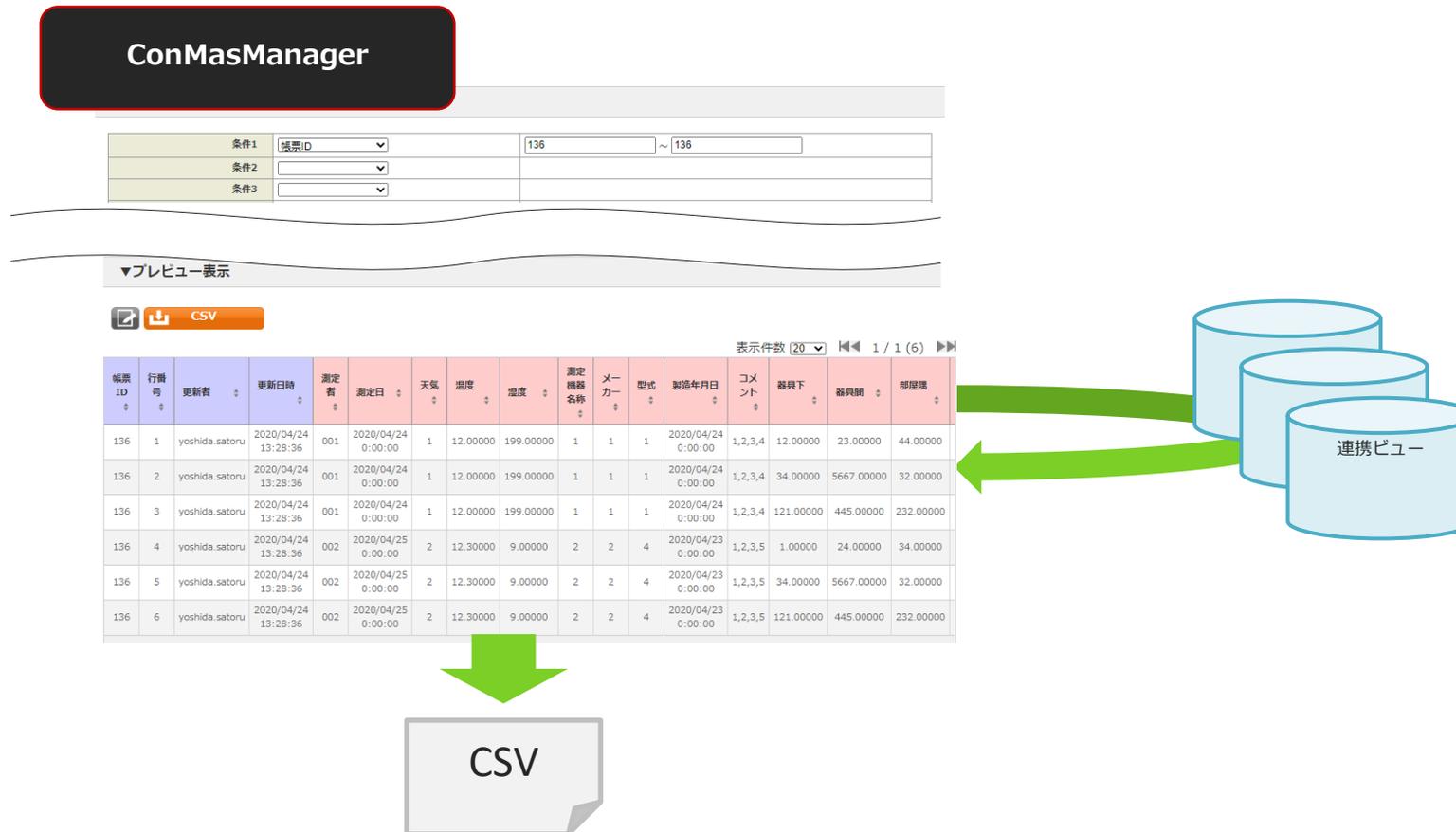
....

....

ConMasManagerからの連携ビュー参照機能

連携ビューの内容をConMasManagerから参照できます。

- 以前に作成された単票形式の連携ビューも参照可
- CSV出力可



データ出力メニューで定義を選択します。

- 定義を選択し、“連携ビュー”へボタンをクリックします。
- 定義は1件まで。

ConMas Manager ログイン中: i-Reporter [ログアウト]
Version: 7.0.20031

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー システム管理

すべて閉じる | すべて開く データ出力対象の定義を選択する 公開 シート セット ブック 🔍 次へ

すべて表示 表示件数 20 1 / 1 (2)

<input type="checkbox"/>	ID	定義名称	元ID	REV	自動	登録日時	登録者	更新日時	更新者
<input checked="" type="checkbox"/>	146	【音声入力Sample】照明照度測定記録表	146	1	対象外	2020/04/24 13:24	yoshida	2020/04/24 13:24	yoshida
<input type="checkbox"/>	145	【音声】棚卸表_クラスター各種表	144	2	対象	2020/04/24 13:23	yoshida	2020/04/24 13:23	yoshida

連携ビューへ

連携ビューを選択します。

- ビュー物理名をクリックします。

連携ビューの選択

▼定義ID:146 定義名称:【音声入力Sample】照明照度測定記録

表示件数 20 ◯ ◀▶ 1 / 1 (2) ▶▶

種別	ビュー物理名	表名称
単票形式	view_report_146	
表形式	view_report_146_1	測定票

表示件数 20 ◯ ◀▶ 1 / 1 (2) ▶▶

- 種別
 - 単票形式は各クラスターが横一列に並んだ形式のビュー。
 - 表形式は表設定された形式のビュー。
- ビュー物理名
 - 単票形式：view_report_[元定義ID]
 - 表形式：view_report_[元定義ID]_[表番号]
- 表名称
 - 単票形式：表示されません。
 - 表形式：表名称を表示します。

連携ビューの参照、CSV出力を行います。

- 抽出条件を指定して検索ボタンをクリックすることで絞り込みが行えます。
- 出力項目の順番、出力可否の設定が行えます。
- CSVボタンクリックでCSV出力します。

ビュー:view_report_146_1 表名称:測定票

▼抽出条件

条件1	<input type="text"/>	▼
条件2	<input type="text"/>	▼
条件3	<input type="text"/>	▼
条件4	<input type="text"/>	▼
条件5	<input type="text"/>	▼
条件6	<input type="text"/>	▼
条件7	<input type="text"/>	▼
条件8	<input type="text"/>	▼
条件9	<input type="text"/>	▼
条件10	<input type="text"/>	▼

検索 保存 クリア

▼プレビュー表示

 CSV

表示件数 1 / 1 (6)

帳票ID	行番号	更新者	更新日時	測定者	測定日	天気	温度	湿度	測定機器名称	メーカー	型式	製造年月日	コメント	器具下	器具間	部屋隔	完了チェック
136	1	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	001	2020/04/24 0:00:00	1	12.00000	199.00000	1	1	1	2020/04/24 0:00:00	1,2,3,4	12.00000	23.00000	44.00000	true
136	2	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	001	2020/04/24 0:00:00	1	12.00000	199.00000	1	1	1	2020/04/24 0:00:00	1,2,3,4	34.00000	5667.00000	32.00000	true

条件を指定して出力レコードの絞り込みを行います。

- 抽出条件は、列ごとに最大10件まで条件設定が行えます。
- 数値、日付、時刻はFrom、To検索。
- 文字列は部分一致検索。
- 条件はAND検索。
- 検索ボタンクリックで抽出条件を適用して検索します。
- 保存ボタンで抽出条件を保存します。保存は1ビューにつき1つまで。

例) 帳票ID = 136で検索

▼抽出条件

条件1	帳票ID	136	~	136
条件2				

▼プレビュー表示

  CSV

表示件数 20 1 / 1 (6)

帳票ID	行番号	更新者	更新日時	測定者	測定日	天気	湿度	湿度	測定機器名称	メーカー	型式	製造年月日	コメント	器具下	器具間	部屋隅
136	1	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	001	2020/04/24 0:00:00	1	12.00000	199.00000	1	1	1	2020/04/24 0:00:00	1,2,3,4	12.00000	23.00000	44.00000
136	2	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	001	2020/04/24 0:00:00	1	12.00000	199.00000	1	1	1	2020/04/24 0:00:00	1,2,3,4	34.00000		
136	3	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	001	2020/04/24 0:00:00	1	12.00000	199.00000	1	1	1	2020/04/24 0:00:00	1,2,3,4	121.00000		
136	4	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	002	2020/04/25 0:00:00	2	12.30000	9.00000	2	2	4	2020/04/23 0:00:00	1,2,3,5	1.00000		
136	5	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	002	2020/04/25 0:00:00	2	12.30000	9.00000	2	2	4	2020/04/23 0:00:00	1,2,3,5	34.00000	5667.00000	32.00000
136	6	yoshida.satoru	2020/04/24 13:28:36	002	2020/04/25 0:00:00	2	12.30000	9.00000	2	2	4	2020/04/23 0:00:00	1,2,3,5	121.00000	445.00000	232.00000

帳票ID = 136のレコードのみ抽出される。

出力するフィールドの順番、項目の出力可否設定を行います。

- 順番はドラッグアンドドロップで変更します。
- チェックをいれた項目を出力します。
- 登録ボタン：出力項目設定を保存します。保存は1ビューにつき1つまで。
- リセットボタン：設定をデフォルトに戻します。

表示	項目名
<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	帳票ID
<input checked="" type="checkbox"/>	行番号
<input type="checkbox"/>	行名称
<input type="checkbox"/>	帳票名称
<input type="checkbox"/>	公開ステータス
<input type="checkbox"/>	編集ステータス
<input type="checkbox"/>	元帳票ID
<input type="checkbox"/>	リビジョンNO
<input type="checkbox"/>	定義ID
<input type="checkbox"/>	帳票種別
<input type="checkbox"/>	シート帳票ページ数
<input type="checkbox"/>	シート表示順
<input type="checkbox"/>	サーバージョン
<input type="checkbox"/>	備考情報1
<input type="checkbox"/>	備考情報2



出力可否(デフォルト)	項目名	説明
○	帳票ID	
	帳票名称	
	公開ステータス	1:テスト公開 2:公開
	編集ステータス	0: 入力前 1:編集中 2:承認待ち（申請中） 3:差戻し 4:完了
	元帳票ID	リビジョン 1 の時の帳票ID
	リビジョンNO	
	定義ID	帳票の生成元定義ID
	帳票種別	1:シート 2:セット
	シート帳票ページ数	
	シート表示順	
	サーバーバージョン	
	備考情報1	
	...	
	備考情報10	
	登録端末	
	登録者	
	登録日時	
	更新端末	
○	更新者	
○	更新日時	
○	各クラスター	データ連携テーブルへの出力対象となっているクラスター

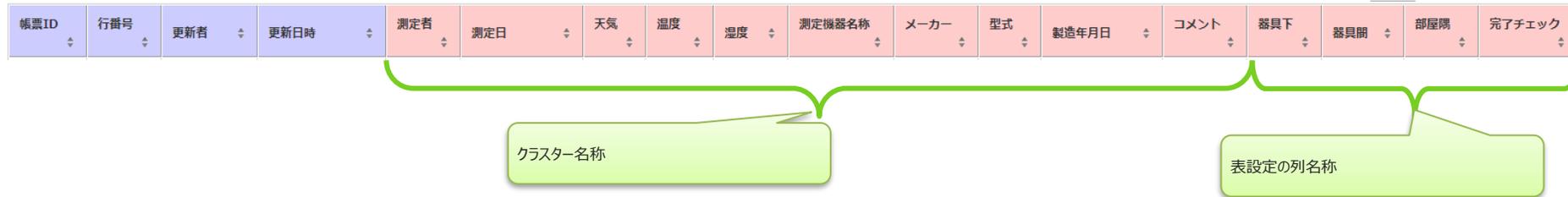
出力可否	項目名	説明
○	帳票ID	
○	行番号	表の各行番号 1～
	行名称	
	帳票名称	
	公開ステータス	1:テスト公開 2:公開
	編集ステータス	0: 入力前 1:編集中 2:承認待ち（申請中） 3:差戻し 4:完了
	元帳票ID	リビジョン1の時の帳票ID
	リビジョンNO	
	定義ID	帳票の生成元定義ID
	帳票種別	1:シート 2:セット
	シート帳票ページ数	
	シート表示順	
	サーバーバージョン	
	備考情報1	
	...	
	備考情報10	
	登録端末	
	登録者	
	登録日時	
	更新端末	
○	更新者	
○	更新日時	
○	各クラスター ※表形式以外のクラスター	データ連携テーブルへの出力対象となっているクラスター
○	表の各列項目	データ連携テーブルへの出力対象となっている表の列

- 単票形式のクラスターヘッダーは、クラスター名称を表示します。
- 表形式のクラスター項目ヘッダーはクラスター名、表の列項目ヘッダーは列名称を表示します。

単票形式



表形式



表設定

表番号: 1

表名称: 測定票

連携テーブルに出力する:

列名称	器具下	器具間	部屋隔	完了チェック
列キー	F_001	F_002	F_003	F_004
列型	数値	数値	数値	テキスト
クラスター種別	数値	数値	数値	チェック

行名称	1	2	3	4
リビング	9. リビング器具下	10. リビング器具間	11. リビング部屋隔	12. リビング完了:
廊下	13. 廊下器具下	14. 廊下器具間	15. 廊下部屋隔	16. 廊下完了:
キッチン	17. キッチン器具	18. キッチン器具間	19. キッチン部屋隔	20. キッチン完了:

連携ビューを利用したCSV出力は、データー出力機能のCSV出力よりも高速で動作します。データー連携テーブルの出力が必要となりますが、多くの帳票を一度にまとめて出力する場合はこちらの機能をご利用ください。